

造船・船用工業分野2号特定技能外国人に求められる実務経験に係る証明書

造船・船用工業分野における特定技能の在留資格に係る制度の運用に関する方針に規定する2号特定技能外国人に求められる実務経験について、下記のとおり証明します。

なお、本件について出入国在留管理官署から照会があった場合には、適切に対応します。

記

1 申請人

氏名	
生年月日	
国籍・地域	

2 実務経験

(1) 業務内容

造船・船用工業において、複数の作業員を指揮・命令・管理する監督者としての業務

※「監督者」とはグループ長やグループリーダー等といった者をいい、実務経験とは、例えば、自らのグループの各従業員への作業指示、製作物の確認、安全確保のための設備や作業場環境の点検、作業計画の作成、作業の進捗管理等を行いながら、造船・船用工業における業務に従事した経験をいう。

(2) 上記(1)の業務に従事していた就業期間

年 月 日～	年 月 日	(計：年 月)
--------	-------	---------

※必要に応じ行を追加すること。

※上記(1)の業務に従事していない期間がある場合は、従事していた期間ごとに記載すること。

作成日 年 月 日

事業者

氏名又は名称

住所

連絡先

作成責任者（署名）_____

※ 証明事項に事実と相違がある場合、申請人の在留資格が取り消される場合がある。